

産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和4年1月18日（火）

開催場所：1・2号委員会室

経 済 部

1. 農業振興について

（1）家畜糞尿流出事故

本件の経過と対応、ミドリ川水質試験報告書の説明を受けました。流出によって丸山公園池に堆積物があることが判明し、当事者による撤去を決定。（2月中撤去予定）

【主な質疑】

委員：今回の事故を受けて農家全戸調査の結果は？

担当：全戸（169戸）の調査を実施し、改善が必要であった農家に対しては、その場で指導しました。調査できない農家には農協から指導いただいています。

委員：事故は河川から海への汚染につながり、また当事者にも大きな負担になるので早急に改善を進めるよう協議していただきたい。

担当：関係機関で連携を図り早期改善に取り組んでいきます。

（2）家畜糞尿によるバイオマス発電

【主な質疑】

委員：町内にバイオマス発電を希望している農家はありますか？

担当：売電型1戸、消費型2戸の希望があります。建設に2億円ほどかかり半分以上が自己負担になることから、より良い補助事業を模索中です。

（3）エゾシカ対策

【主な質疑】

委員：令和3年度は駆除頭数を追加補正しましたが、令和4年度申請頭数は増やす予定でしょうか？

担当：例年800頭ですが、次年度以降1,000頭の申請を予定しています。

委員：駆除したエゾシカは直接ペットフード会社へ運搬するようですが、町の食品加工研修センター等で食肉加工につながるようになりませんか？

担当：解体を含めた処理が必要であるため、現在の状況では難しいと考えます。

2. 学校法人岩谷学園について

- ・令和3年度入学者6名が未だ入国できない状況。
- ・令和4年度入学予定者35名の在留資格申請書を札幌出入国管理局に提出中（2月下旬に許可予定）

【主な質疑】

委員：日本語学校が開校し、令和6年にはIT専門学校開校に向け進んでいることで、高校卒業後の進路という本町の課題解決の糸口になり、本町が他の専門学校、大学を誘致することのアピールにつながるのではないのでしょうか？

担当：今回専門学校をつくるに当たっても、北海道の許認可が厳しいのではないかとされておりまして。少子化の時代もあり現状では、まだ次の学校の誘致ということは考えておりません。

委員：単に誘致するだけではなく町がサポート役になり、企業と学校とをマッチングするサポート制度などを調査研究してみてもは？

担当：12月に商工会、農協、建設協会などと連携協定を結びましたので、専門学校の学生が地元に残れるように各機関と連携し取り組んでいきたいと考えています。

建設水道部

1. 大規模盛土造成地変動予測調査について

国は地震による災害の未然防止を目的に、「宅地耐震化推進事業」を創設しました。

これを受け町では盛土箇所の調査を行いマップにして公表しました。令和3年度は東8条～12条北7～9丁目付近、3箇所の地盤調査・安定計算を実施しました。

解析結果（中間報告）で、一部液状化の危険はあるが、盛土に細粒分を多く含んでいるため、液状化の程度は小さいとの報告を受けました。

2. 指定管理者の公募について

・下記とおり指定管理候補者が決定しました。

対象施設	委託期間	候補者団体
中標津町労働会館	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日まで	連合北海道中標津地区連合会 会長 松井義貴
公園 (丸山公園ほか32公園)	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日まで	株式会社中標津都市施設管理センター 代表取締役社長 高橋勝義

総務部

1. 第2期中標津町まち・ひと・しごと創成総合戦略について

・パブリックコメント（意見13件）を経て、最終案の説明を受け若干の訂正指摘をしました。

2. 組織機構の見直しについて

・総務部の「企画課」を「政策推進課」に見直し「ふるさと応援係」を新設する。
・「ふるさと納税」にかかわる窓口を一本化する。

【主な質疑】

委員：返礼品委託先の観光協会（担当経済部）との兼ね合いは大丈夫ですか？

担当：観光協会とは連携を密にとっていきます。

3. 国の令和3年度補正予算（第1号）に伴う事業について

- ・趣旨 新型コロナウイルス感染症対応に万全を期し「新しい資本主義」を起動させ「成長と分配の好循環」を実現するため、総合的な経済対策を策定するとともに、令和3年度、4年度予算を「16ヶ月予算」と考え一体的に財政政策を実行する。
- ・国の補正予算に伴う中標津町への影響（当委員会所管分補正予算対象事業）
 - 農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業（タブレット端末9台）
 - 大規模盛土造成地変動予測調査（第2次スクリーニング調査5箇所）